

ふれあい  
ネットワーク



# 社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごと  
ご相談はご遠慮なくどうぞ  
☎☎35-1270

## 開設します！無料法律相談

法律事務所の弁護士による「無料法律相談所」を開きます。遺産相続、離婚、財産、多重債務など、法律に関するご相談をお受けいたします。

相談についての秘密は固く守られ、相談は無料です。

▶日時 11月19日④ 13時～16時  
▶場所 茶北町新ふれあい館（茶北町志岐32番地3）

▶相談料 無料

▶相談担当弁護士 「天草ひだまり総合法律事務所」

※相談は、事前の予約が必要になります。

※相談を希望される人は、11月16日④までに茶北町社会福祉協議会へご予約ください。

※相談時間には制限（1件 約30分）がありますので、相談申し込みが多数の場合は、一部の相談をお断りすることがあります。

詳細は、茶北町社会福祉協議会へお問い合わせください。

【無料法律相談に係る費用は、社会福祉協議会が負担しています】

無料でお譲りします

## 福祉機器リサイクルコーナー



◎ベビーベッド……2台

※うち1台は9月号掲載のものとなります

### ▼申込受付期限

希望する人は、11月9日④までに茶北町社会福祉協議会へお申し込みください。希望者多数の場合は抽選になります。

抽選は、11月10日④午前9時から茶北町保健センター内で行います。

☎ 茶北町社会福祉協議会 ☎35-1270

令和2年度(中途)採用 茶北町社会福祉協議会

# 職員採用試験

## ■職種・採用予定数

一般事務（会計事務）…1名程度

※高等学校卒業程度

※茶北町社会福祉協議会事務局に勤務

## ■受験資格

・昭和61年4月2日～平成15年4月1日に生まれた人

・心身ともに健康で福祉に関心があり、簡単なパソコン操作（文書・計算）ができる人

・現在町内に住所を有する人、または採用後に町内に居住できる人

## ■応募受付期間

10月22日④～11月12日④

※受付は平日の8時30分～17時まで

※郵送の場合は当日の消印有効

## ■一次試験

▶期日 11月28日④ 8時30分～

▶場所 茶北町保健センター

## ■採用予定日

令和3年2月1日～

※令和3年3月卒業見込みの高校生・大学生等の場合は令和3年4月1日～

## ■試験案内・申込書の請求

○茶北町社会福祉協議会へ直接取りに来てください。

○社協のホームページからダウンロードもできます。  
<http://reihokushakyo.com>

○郵送請求を行う場合は次のとおりです。

封筒の表面に「茶北町社会福祉協議会職員採用試験申込請求」と朱書きし、140円切手を貼った宛先明記の返信用封筒（角形2号）を同封のうえ請求してください。

## ■申し込み方法

申込用紙に必要事項を記入し、履歴書を添えて、応募期間内に郵送または持参してください。郵送する場合は、受験票の返信用として84円切手を貼った封筒（宛先、郵便番号を明記）を同封し、表に「茶北町社会福祉協議会職員採用試験申込書」と朱書きした封筒に入れて、必ず「簡易書留郵便」で送付してください。

## 【応募先・問い合わせ】

茶北町社会福祉協議会（茶北町保健センター内）

〒863-2503 茶北町志岐660番地 ☎35-1270



茶北町坂瀬川の木場で、竹上家8人姉弟（男3人、女5人）の四女として生まれる。静喜さんは新生児としては小さく生まれたため、命の危機にさらされながら育った。小学校に入学した頃には、だいぶ落ち着いて病気もあまりしなくなったが、体を動かすのがあまり得意ではなく体操が好きではなかった。

そして、坂瀬川中学校を卒業した後はすぐに猪口医院に勤め、働きながら看護師の免許を取得した。その後は、昭和27年から松田外科に勤めていたが、以前からの知り合いでバスの運転手をしていた、後のご主人となる義雄さんと昭和31年に結婚した。（3人の子宝に恵まれ、今ではお孫さんが6人とひ孫さんが5人いらっしゃる）

それからしばらくは、専業主婦として子育てを主に過ごしていたが、昭和41年から茶北医師会病院に勤めた。そこでは恵まれた職場環境で過ごし、福利厚生が充実していて職員旅行にも行くことができた。約30年間茶北医師会病院に勤め、看護婦長という大役も果たし定年まで勤め上げた。

定年後は、これまで培った経験を活かして、富岡保育園で幼児の世話もしていた。平成20年にご主人の義雄さんが亡くなられた後は悲しさを感じることもあったが、今は一人でも気楽に過ごしている。普段は熊本に住んでいる息子さんが時々茶北に顔を出してくれるのも助かっていて、静喜さんは安心して暮らしている。

「じっとしているよりも、体を動かしたいです」と話された静喜さんは、いきいきと輝いている。



茶北町で、元気に生き生きと暮らしていらっしゃる『たっしゃかもん』をご紹介します。

# 輝いています！ たっしゃかもん

No.233

じっとしていません。  
体を動かすのがとにかく好きです！

はしもと しずき  
橋本 静喜さん

（昭和10年3月10日生まれ）満85歳 三丁目区在住

## 問 好きな食べ物

何でも食べます。だけど、うなぎだけは苦手。自然と蛇のイメージが頭に浮かんでしまいます。それ以外は何でも。強いと言えば、刺身は何人分でも食べられますし、甘い果物も好きです。

## 問 好みの異性のタイプは

がっちりしていて頑丈そうな人が好きです。大相撲の関取で言ったら、元横綱の千代の富士みたいな人がタイプですね。

## 問 私の趣味

花作りで、家の周りに季節によって変えて植えます。何の種類でも種から育てるのが良いです。上等な花でなくてもいいので、ヒマワリとか好きですね。

## 問 私の健康法

歩くことです。歩かなくても、部屋の中でもじっとしているのが嫌でコソコソと動きます。掃除とか今日も3時間くらいしていました。コロナのせいで室内に皆で集まってからの体操はあまりできないけど、グラウンドゴルフには行きます。

## 問 思い出

30年以上看護師をしていましたが、同僚や後輩との思い出が多くあります。忙しい中でも、職員旅行に行ったりしました。昔の写真を時々眺めると、本当に懐かしいです。

## 問 若い世代へ伝えたいこと

特にこれというのではないけど、礼儀をきちんとしてほしいと思います。ほんのちょっとした所ですが、挨拶とか若い人はなかなかしないので、自分からしてほしいですね。

## 問 町へのメッセージ

町の食生活改善推進協議会の方で、大変お世話になりました。平成8年5月の立ち上げの時に初代会長として関わらせていただきましたし、色々な所に会議で行かせていただいたので本当にありがたい事だったと思っています。

◀食改の副会長と人吉研修にて